

令和6年11月1日

ひので
議会だより



日の出町
ひのでちゃん

No. 212

令和6年
第3回定例会

Contents

議案と結果		P 2
一般質問 町政を問う...		P 3
決算審査		P10
議会日誌		P12



児童・生徒へ安全でおいしい給食を安定的に提供することで、心身の健康と成長を支え、食育の充実を図る目的で、10月1日から学校給食が無償化されました。

大久野中学校生徒の給食の様子

議 案 と 結 果

令和6年第3回日の出町議会定例会（会期：令和6年8月30日～令和6年9月18日）

＜町長提出議案＞

○…賛成 ×…反対

番号	議 案 名	自	公	み	レ	立	都	黎	結 果
42	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可 決
43	日の出町総合計画審議会条例等の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	可 決
44	日の出町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可 決
45	日の出町未来わくわく支援金の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可 決
46	日の出町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可 決
47	令和6年度日の出町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	可 決
48	令和6年度日の出町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	可 決
49	令和6年度日の出町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	可 決
50	令和6年度日の出町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	可 決
51	令和5年度日の出町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認 定
52	令和5年度日の出町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認 定
53	令和5年度日の出町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認 定
54	令和5年度日の出町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認 定
55	令和5年度日の出町下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認 定
56	日の出町職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可 決

＜陳情＞

番 号	陳 情 名	陳 情 者	結 果
6陳情第1号	民間建築物に係る石綿（アスベスト）等含有調査への助成制度を求める陳情書	東京土建一般労働組合 西多摩支部執行委員長 宮 崎 透	趣 旨 採 択
6陳情第2号	マイナ保険証と現行の健康保険証の両立を図るよう国への意見書提出を求める陳情書	東京土建一般労働組合 西多摩支部執行委員長 宮 崎 透	不 採 択

＜各会派の名称と所属議員＞

会 派 名	略 号	所 属 議 員（★印…会派代表者）	
自民蒼政クラブ	自	★濱中 映慈・東 亨・平野 隆史・川脇 敏徳・木住野 智行・濱中 直樹・玉井 大	7人
公 明 党	公	★嘉倉 治・縄井 貴代子	2人
レ モ ン の 会	レ	★大澤 弘子	1人
み ど り の 会	み	★萩原 隆旦	1人
立 憲 民 主 党	立	★下向 辰法	1人
都民ファーストの会	都	★鈴木 正彦	1人
黎 明 会	黎	★塙 康平	1人



萩原 隆旦
はぎわら たかあき



広報に掲載された「シリーズ行財政改革」の疑義について

Q 財政調整基金は結果として毎年増やしてきた。減少一方となっている特集号の見直し図は、最初の2年間で破綻しているのは明らかだ。

A (課長) 執行が進む中で決算額との差分は結果的に出るが予算ベースの積算で間違っていない。

Q 予算は予定であって現実の基金の残高は決算値で見なければならぬのでは。

A (課長) 今後の財政運営を見通していく中で、予算が組めなければ持続可能なものにならないため予算ベースで推計している。

Q 令和4・5年度も増加。6年度以降も増加基調というのは予想と言える。最初から減少基調なのは間違いでは。

A (副町長) 令和4・5年度の決算値から4年8月号の表を間違っているということに無理がある。

Q

財政調整基金の見直しについて町長が公約を守らないと決断したときに、その確実性について自ら検証したのか。

A (町長)

財政調整基金の見直しは福祉単独施策見直しの理由では全くない。公約実現には一生懸命努めるが苦渋の決断であった。ここですっかりと町政を前に進めることこそ私の果たすべき役割である。今もそのように確信している。



嘉倉 治
かくら おさむ



生活道路の整備計画に関して

Q 狭隘な町道は緊急車両の通行の妨げになる。町としての今後の方策、年次計画の有無は。

A (課長) 関係住民全員の賛同が得られた場合、財政状況等を考慮しながら、条件が満たされた路線から計画を進めていきたい。

Q 以前より指摘している「セットバック部分の改善策」の実施は、副町長が試験的に行うとの答弁をしたが、その実施めどは。

A (副町長) 試験的に整備するため、今後の参考となる箇所を選定し、今年度後半には、数カ所の整備を進めることができるよう準備に入っている。

Q 都市計画マスタープランに基づく都市計画道路の線引きが重要とるが基本方針は。

A (課長) 現在都市計画マスタープランの見直しを行っている。基本方針の一つとして、将来都市像の実現に向けて、

仮称「東光院橋」の建設に関して

Q 入札が不調不落から大分年月が経過しているが今後の方策は。

A (課長) 今後の状況に大きな変化がない限り、事業執行が難しい状況。様々な条件が整うまで、事業を延期することとし、地元正副自治会長や地元議員に説明し、理解を得た。





なわい きよこ
縄井 貴代子



新型コロナウイルス定期接種について

Q 令和6年秋冬にはじまる新型コロナウイルスワクチン接種。自己負担額に対する町独自の助成金を求める。

A (課長) 西多摩8市町村で協議の上、自己負担が※3,500円となるよう町助成を行う予定。

日の出町農業振興委員会に継承された「ひのでトマト」について

Q 「ひのでトマト」の今後の方向性は。

A (課長) 日の出町農業振興委員会にブランドを引き継いで2年が経過。ひので塩田農産物普及センターで減少した生産量の確保、経営規模の拡大を見込みトマト農家の方々が取り組んでいる。引き続き町の特産品として、継続・発展していく方法を日の出町農業振興委員会と連携し、総合的に検討していく。

野生動物について

Q 町内で頻発しているクマの被害防止対策への新たな取り組みは。

A (課長) 都と「日の出町におけるツキノグマ防除対策事業に関する基本協定書」を締結。市街地に出没したクマに対する見回り追払いを実施する。「東京都多摩6市町村獣害対策連絡会」が発足。関係市町村と情報共有も図る。

熱中症対策について

Q 小中学校の体育館エアコン設置に関する今後の方針は。

A (課長) エアコンの設置は建替え・統合時に整備することを基本とし、その間までは、大風量冷・温風機をリースする方法等による対応の検討を始めた。



広報ひので
10月号

※東京都からの補助が加わり、自己負担額が2,500円となります。詳細は、広報ひので10月号(P12)を御覧ください。



すずき まさひこ
鈴木 正彦



日の出町で当地ナンバー導入について

Q ご当地ナンバーとは「動く広告塔」効果と言われ、地域の知名度を向上させ、地域ブランドを全国に発信し、観光振興や産業振興につなげる。また地域への愛着心を高め、一体感を醸成し、地元車両であることが明示されることで運転マナーの向上や安全運転の意識向上につながるとして認知されている。

近隣の市町村では既にイメージキャラクターなどを活用し、原動機付き自転車、いわゆる原付バイクへの交付を行っている自治体もあるが当町の考えは。

A (課長) 来年6月1日には、大久野村と平井村が合併して「新村・日の出村」が誕生してから70年を迎える節目の記念すべき年でもある。地域の魅力を内外に広めると共に町民が誇りや地元愛

を持つ良い機会と捉え、シティプロモーションとして有効な施策となるかについて、関係各課と検討していく。

Q 近隣でのご当地ナンバー導入状況は。

A (課長) 西多摩8市町村中、未導入団体は、日の出町、檜原村、奥多摩町の3町村のうち、檜原村は来年度に導入予定。ひのでちゃんナンバープレートのデザインを町民から公募するのは可能か。

A (課長) シティプロモーションとして有効な施策となるかをまず検討しなければいけない。「都内でありながら緑に囲まれたちようどいい田舎、それが日の出町」その中で、当町の愛すべきイメージキャラクターひのでちゃんナンバープレート事業について、町長の考えは。

A (町長) 大変参考になった。





きしのともゆき
木住野 智行



合併70周年、町制施行50周年にあたっての記念事業について

Q 現段階の状況は。

A 令和7年度に本格実施予定。タイムカプセル開封と町勢要覧を発行。各課事業は記念事業として位置づける。

町行政改革（その5）の取組みについて

Q 令和7年度予算編成にあたり、「適切な予算配分」をどのように活かしていくのか。

A 給食費無償化をはじめとする、新たな社会課題解消等へ予算措置されるよう無駄のない予算積算に向け取り組んでいく。

町のスポーツ振興と（特非）日の出町スポーツ協会について

Q スポーツ振興のための計画や施策等は。

A 現在、町にはスポーツに特化した個別の計画はないが、第5次日の出町長期総合計画や日の出町教育ビジョン2023推進計画に趣旨を掲げている。



Q 今後の（特非）日の出町スポーツ協会の在り方や方向性について、町の考えは。

A 日の出町スポーツ協会とも連携し、今後も継続した支援を行い、共に町のスポーツ振興を行っていただくと考えている。

総合相談窓口について

Q 町長公約の窓口創設の進捗状況は。

A 国等のシステム、DXの進展を見据えながら「暮らしの総合相談窓口」に発展していければと考えている。



かわぶちとしのり
川脇 敏徳



大規模風水害、地震による被災者の法的支援策について

Q 弁護士会との災害時における被災者法律相談に関する協定書は。

A 防災対策の面から有益で、今後課題をクリアにして検討していく。

地方議会の住民代表機能について

Q 住民の声を把握し提案された件の実行率は。

A 集計していない。実現した例は、未来わくわく支援金など。

Q 提案された件の検討資料、フォーマット等による資料整理は。

A 特に用意していない。

指定管理者の労働条件審査について

Q 法令遵守、労働環境等の審査について社労士会との協議結果は。

A 特段の必要性が無いので検討していない。

教育関係全般について

Q 家庭・地域・学校のつながりを重視した取組は。

A 「共に学び支え合いみんなで創る日の出町の教育」の取組。支援事業等は、日の出町学校支援人材バンク登録者による支援、イオンモール日の出、大学機関との連携協働や産学官連携の取組みを進めている。

Q 現在の不登校の要因、傾向の川上対策として就学前の支援対策は。

A 幼児期の育ちや気づき、小学校への切れ目のないようにつなげ、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもを育成する幼保小連携教育を推進する。

Q 教育環境の質的改善・向上を図る取組は。（施設整備編）

A 「長く賢く使う予防保全型」の行動基準と維持向上を図る基本方針を定めている。





たま い
玉井

ひろ し
大



ネーミングライツについて

Q ネーミングライツの導入についての見解は。

A 令和5年2月に策定した日の出町行政改革大綱・日の出町行政改革（その5）では推進項目2②歳入維持確保の取組項目で公共施設のネーミングライツ導入を掲げ公共施設、道路などの維持管理財源の確保、民間企業団体等へ地域活動及び社会貢献の場を提供する事を目的としてネーミングライツ事業を実施するとし導入に向けた規定類の作成を行っている。

女性活躍推進法に基づく当町の対応について

Q 市区町村は国と共に女性活躍の旗振り役とされ率先した取組みが必要と考えるが当町の取組みは。

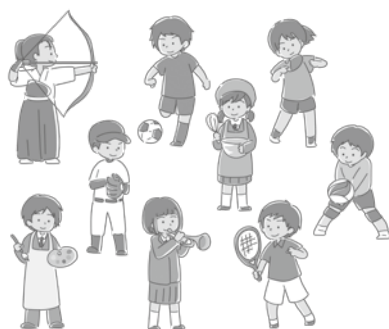
A 女性活躍推進法に基づき女性職員の活躍の推進に関する計画を包括した日の出町特定事業主行動計画を策定

し、女性職員が活躍できる職場づくりに向け様々な取組みを推進していく。

日の出町立中学校部活動の地域連携及び地域移行に関する推進計画について

Q 外部指導員を活用する事によって教員の働き方改革や子供達の能力等伸ばせる可能性が広がる利点がある反面課題があると思うが見解は。

A 町の事態に即した部活動改革となるようスポーツ・文化関係団体、亜細亜大学日の出キャンパスの代表の方々と共に考え議論し改革を進めていく為に協議会を設置し協議を進め、外部指導員の活用を含めた部活動改革の取組みを進めていく。



おお さわ
大澤

ひろ こ
弘子



「多摩格差」について

Q 区部との支援格差について給食費の無償化以外にも屋内運動場の空調設備等の問題があるが、格差解消についての考えは。

A 東京都に市町村総合交付金の拡充強化の要望を出している。地域の特性や課題を鑑みて解消していくことが重要である。

体育館の空調設備について

Q 現状は。

A 西多摩地区の設置率は36.3%であり、町内の小中学校で設置されている学校はない（令和4年6月現在）。

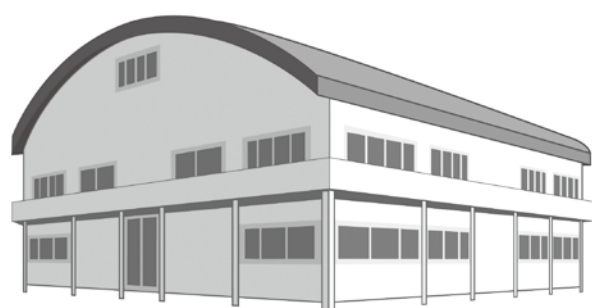
Q 子供たちの日々の安全だけでなく、災害時等の避難場所としての活用という観点からも、体育館の空調設備は重要だと考える。その点について、対策は。

A 空調機の設置は施設の建替え・統合時に整備することを基本としており、ランニ

ングコスト等の問題も踏まえると、具体的な時期の検討には至っていない。当面は大風量冷温風機をリースする方法等による対応の検証・検討を行う他、遮熱シートや遮光カーテンの導入も検討する。

Q 空調設備設置に関する補助金についての現状は。

A 都の補助金は今年度が終期となっているが、要望があれば延長すると回答を得ている。今後とも国や都の補助事業を活用して整備について検討していきたい。





ひらの
平野 隆史



町内における残土、盛土の状況について

Q 玉の内地区の第2、4工区

と長井地区の太陽光発電施設で、6月議会以降状況変化があれば、その内容は。

A 玉の内地区の現場については、生活安全安心課、産業観光課、まちづくり課、建設課の4課により、毎週火・木曜日に残土パトロールを実施。長井地区の太陽光発電施設は、建設課が必要に応じて現場を確認している。玉の内地区の第4工区については、新たな残土の搬入はないが、8月24日のゲリラ豪雨により、小規模だが、新たな土砂崩れが発生した。この事を受け、8月30日付で事業者に対し土砂の撤去について再度通知した。これに関連する情報は、

7月30日に東京都都市整備局市街地整備部画整理課の職員2名、8月1日に東京都環境局多摩環境事務所自然環境課の職員5名により、玉の内地区と長井地区の視察を行った。8月7日には、東京都総務局行政部の職員7名により、玉の内地区第2・3工区を視察し、都市整備局及び多摩環境事務所の視察時と同様にインフラ整備担当課長が同行し、現場の状況説明をした。



しもむかい
下向 辰法



町が実施した公共事業について

Q 当町が実施した過去の公共

事業の名称、予定価格、落札価格、落札率、落札者、設計事務所について。

A 平成31年度日の出町立本宿小学校改修工事（建築工事）、8,349万5,500円、8,305万円、99.46%、扶桑建設㈱、㈱構研設計事務所。

令和5年度 日の出町こども家庭センター整備及び保健センター改修工事、1億348万9,100円、1億340万円、99.91%、㈱東郊建設、㈱雄建築事務所。

令和6年度庁舎非常用発電機等改修工事、1億8,111万5千円、1億7,930万円、98.99%、㈲内田電気商会、㈱雄建築事務所など計12件。

Q

99.46%、99.91%、98.99%。非常に高い落札率のものがあるが、この件については。

A

入札結果の中でそういうふうに出ている。入札を開札するときには予定価格を設定していて、その中でどういう競争が行われ、どういう業者が落札したかのが判明する、その結果として落札率が出るので致し方ない。

Q

過去5年間の落札者が、扶桑建設㈱、㈱東郊建設、この2社で、12件中6件で50%になるが、この件については。

A

当町の公共事業に強い業者というのが出てくるのかも知れない。指名した業者の中で競争し、その結果、少しいつの業者が多く出たと理解している。





はまなか
直樹



日の出町地域防災計画について

Q 46・3%の世帯が自主防

災組織に未加入の現状をどう考えるか。

A 危惧している。自治会加入率を上げるよう努める。

Q 旧耐震基準基準で建設された住宅の割合は。

A 住宅数のみを把握するのは困難である。統計調査により、およそ26%を参考値と考える。

Q 学校教室にある天井から吊るされたテレビの現状は。

A 3校が全て撤去済みである。残り2校も今年度中に撤去する予定。

Q 災害時受援応援計画策定の進捗は。

A 現在は検討が進んでいないが、令和8年度末までに策定したい。

Q 地域防災計画に噴火降灰対策計画が盛り込まれたことは評価するが、具体的な対応策策定はいつか。

A 4～5年程度は必要である。

(課長)

8月26日が「火山防災の日」に制定されたので、これを機に町民に降灰について周知を図る。

Q 宅地等に降った火山灰の処理は。

A 土地所有者が火山灰を除去し、収集する。

Q 火山灰運搬は一般廃棄物とは別に行うとあるが、通常のごみ袋は使用できるか。

A 火山灰は、石や砂と同様に自然物の扱いのため、町が使用しているごみ袋は使用できない。

Q 道路に降った火山灰除去は降雪時と同じように除去作業が行われるか。

A 火山灰は雪と違い、溶けず、水を含むと固まる特性がある。収集後に決められた場所に運搬する必要がある。降雪時と同じ対応にはならない。



はまなか
映慈



獣害対策について

Q 動物愛護の観点から、捕獲した小動物の処理を行う設備は。

A タヌキは鳥獣保護法に則り対応し、特定外来生物は猟友会等に委託し西秋川衛生組合で処分する。

Q あきる野市はCO2を用いて処理する設備があるが、町もこれをモデルにする考えは。

A 猟友会からの要望や東京都からも推奨されている。町としても令和7年度からCO2での処理ができる体制を作るよう現在準備を行っている段階である。

Q 害獣目撃アプリが奥多摩町で開発された。当町でも、このアプリ導入の検討はあるか。

A 良いシステムと思うが、町ではサルやクマ・イノシシなどの目撃について目撃場所や時間経過などを勘案し日の出町お知らせメールや日

の出町公式LINEを活用し注意喚起をしており必要な情報は発信出来ていると考える。

Q クマの出没が相次いでいるが住民とクマが出会った場合に取るべき行動マニュアルを作成し、住民に周知するべきと考えるが。

A 町ではHPに野生動物と出会った場合の対応を掲載している。また、東京都環境局のツキノワグマの都内での目撃等を掲載しているHPのリンクを貼っており「被害を防ぐために」と題したクマに出会ってしまった場合の対策も確認できるようになっている。



〇クマに出会ってしまったら〇

遠くにいる場合

落ち着いて、その場を離れましょう
走ったり大声を出したりして刺激を与えないようにしましょう

近くにいる場合

背中を見せず、落ち着いて、ゆっくり後ずさりしてその場を離れましょう



はなわ
埴

こうへい
康平



創業支援全般について

Q

東京都内の各自治体でチャレンジショップという取り組みが広がっているように見受けられるが、日の出町で取り組む考えは。

課長 A

チャレンジショップは空き店舗や空室、空きスペースを新規開業希望者へ貸し出すことで、自治体は域内の店舗開業を後押しすること、地域の活性化を図ることができ、事業者は域内ニーズや店舗のオペレーションの確認、顧客の獲得等を店舗開業前に行える事業となっている。都内では自治体や商工会が主体となり、チャレンジショップ事業を実施しており、近隣ではあきる野市、青梅市等が実施している。日の出町では現在チャレンジショップの取り組みについては検討していないが、町内の創業者増加に向けた取り組みの一環として、今後研究していく。

Q

課長 A

日の出町で創業する際に実店舗を開きたいが、日の出町に貸店舗がない現状がある。確認している範囲内では1、2件程度。時期によっては大手サイトで掲載ゼロもある。環境的理由で結果として町外での創業になっってしまう方もいる。そのような取りこぼしについては町ではどう考えているか。現在、なかなか町内で空き店舗、空部屋、チャレンジショップに該当するようなところが実際に見当たらないのが現状。この事業も令和5年度から始まったばかりのため、今後の課題として検討していきたいと考えている。



12月定例会日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
11/17	18	19	20	21	22 議会運営委員会	23
24	25	26	27	28	29 本会議 (議案審議)	30
12/1	2	3	4	5	6 総務 まちづくり 常任委員会	7
8	9 厚生文教 常任委員会	10 議会運営 委員会	11	12	13 本会議 (議案審議)	14

会議日程は、変更となる場合があります

請願・陳情は！

12月の定例会では、11月15日までに受理したものについて審議します。それ以降の受付の場合は、次回定例会で審議することになります。

平成28年9月20日より、日の出町議会請願及び陳情取扱要綱が制定されました。

- 件名は、おおむね50字以内、趣旨、及び理由は合わせておおむね1,500字以内としてください。
- 郵送された陳情書は、要望書扱いとなりますので、必ず陳情者が持参してください。（開庁時にご来庁願います。）
- その他、詳しいことは議会ホームページの、日の出町議会請願及び陳情取扱要綱または議会事務局まで問い合わせください。

令和5年度 各会計の決算を集中審議（9月10・11日）

決算を集中的に審査する予算決算常任委員会が開催され、活発な質疑応答が交わされました。

9月18日の本会議最終日には、委員長による審査経過・結果報告の後、採決により5つの会計決算全てが認定されました。

主なQ & A

一般会計

Q 自主財源の昨年度比減少幅が約3億6千万円にもなる。うち地域振興費減が1億5千万円だが、残りの約2億円の減少の理由は。

A 繰越金（約1億9900万円減少）の影響と考える。

Q 農業・商業・観光・新たな産業・大企業誘致など、今後の歳入の確保策は。

A いろいろな要素があるが、ふるさと納税、補助金の活用など進める。

Q 個人住民税の滞納繰越分の徴収率が7ポイント改善された要因は。

A 過年度分の滞納納付の際に現年度分も納めていただくなど、緻密な努力を行っている。都税も一緒に徴収するので都からも高く評価されている。

Q 単独福祉施策見直し後も民生費比率が増加している。民生費比率の目標値は。

A 目的別比率はさまざまな要因によって大きく変わるもので、目標値というものはない。

Q 事務事業評価様式変更の理由は。

A SWOT分析を採用していたが、労力負担が大きく、PDCA分析に戻した。

Q 地籍調査事業経費について。行政改革その5により、令和5年から9年度まで地籍調査の事業は、休止となっており、令和5年度分の調査費となる。

Q 電機自動車充電設備設置工事費補助金について。

A 東京都市町村総合交付金から庁用自動車維持管理事業（ゼロエミッション）として補助されている。

Q 日の出町お知らせメール配信サービスにおける登録者数の目標を町民の何割としているか。

A 目標値は設定していない。必要な方に必要な情報が届くように、問い合わせ等あれば登録を促している。

Q 職員採用試験について減少傾向の状況と対策は。

A 優秀かつ、当町で就職したいという人材を確保するために、あえて統一試験日などにあてている。日の出町の魅力、日の出町職員の魅力を伝えていく。

Q こども食堂推進事業補助金62万7千円の利用状況は。

A 月に1回以上、また1回あたり10名以上が参加できる規模での定期開催をする要件で令和5年度は1事業所が実施した。

Q こども食堂について今年度は2件の申請、来年度の見込みは。

A 「申請に間に合わなかった。」という町民の意見も聞いている。今後の動向等を確認しながら考えていきたい。



Q 日の出山荘運営経費1,084万8,730円について。

A 指定管理委託料が1,024万3,356円と占めているが、その都度修繕をする箇所があれば、予算を計上し、修繕している状況で、計画的な修繕が必要。

Q 農作物有害鳥獣駆除委託113万2,920円の内訳について。

A 五日市猟友会への委託費用で東京都から許可が出ている鳥獣について捕獲業務や処分業務に対する費用が主な内訳。

Q 町立学校校務支援システム利用料314万1,600円、この内容について。

A 校務支援システムは、学校の校務をアナログからデジタル、ペーパーからデータ一元管理に変えていくもの。

Q 町民グラウンド改修工事施工監理業務委託料635万8千円について。

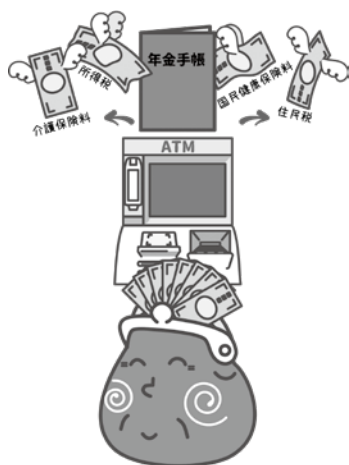
A 契約書では実質工事日数として150日、監理業務日数は重要月は週1回程度の打合わせと立会い、人数は、監理に必要な人数とする。

特別会計

国民健康保険

Q 国民健康保険税の徴収率が町民税に比べ、低い原因は。

A 国民健康保険税は、普通徴収（自ら納付書により納める）の割合が80%、一方、個人住民税は特別徴収（給与から天引き）の割合が75%となっていることも一つの要因。今後は、口座振替等も視野に入れ徴収率をあげていきたい。



介護保険

Q 第1号被保険者のうち後期高齢者の割合が年々増加している、今後の見通しは。

A 令和8年度まで増加傾向が続き、2040年まで減少傾向にあると予測している。

下水道事業

Q 経常収支比率が100%を上回った要因は。

A この数値は下水道使用料等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標であり、100%を超えるのは適正な経営状態である。

Q 過去3年の推移を見ても、有収率は80%台で増減している。有収率の目標値はあるか。

A 日の出町公共下水道事業計画における目標値は86%であり、令和5年度は達成する見込みである。

Q 有収率を100%に近づけるために有効な対策は。

A 宅内排水設備の雨水流入対策、および日の出町下水道ストックマネジメント計画に則った異常箇所修繕、改築により、不明水量の減少を図っていく。

Q 日の出町の^{※かんきよ}管渠老朽化率4.12%は他の地域と比べてどのくらいの比率なのか。

A 多摩地区の中では高い数値である。原因は平成4年度に日の出団地の一部下水道管路施設を改修の上、公共下水道に接続したため。
※水路全般の総称。



議会日誌

西多摩地区議員研修会



演題 「ハラスメント防止・根絶について」
講師 一般財団法人 地方自治研究機構 井上 源三 氏

議会広報研修会



町民の皆様によりわかりやすく、親んでもらえる議会だよりにするため、全国町村議会議長会主催の研修会に参加しました。

西多摩郡町村議会議員親睦会



講演 「瑞穂町のDX推進会議について」
「大瀧詠一の世界」
現地見学 「瑞穂町図書館」

編集後記

記録的な猛暑は残暑となってもその勢いはわかりませんでした。短い秋を迎え、今年の冬も寒くなりそうです。寒暖差は身体の免疫力を下げ感染症などにかかりやすくなるリスクもあります。また今夏は南海トラフ地震臨時情報が発令から始まり、大型台風などによる自然災害も猛威を振るいました。寒くなる時期にむけて、町民の皆様にかかれましてはご自愛頂くと共に慌てず冷静な備えをして頂きますようお願い申し上げます。

編集委員 鈴木正彦



このQRコードは「東京都備蓄ナビ」です。是非ご活用ください。

議会だより編集委員

玉井 大	下向 辰法	鈴木 正彦
大澤 弘子	萩原 隆旦	埴 康平
	(編集委員長)	

発行 日の出町議会 編集 議会だより編集委員会
〒190-0192 西多摩郡日の出町平井2780 TEL 042 (588) 5148 (直通) FAX 042 (597) 4369

再生紙を使用しています。